



朝のこない夜はない

あせ
汗と苦勞くろうと努力どりよくの先さきに

こうみよう
光明こうみようは見出みいだされます

副山首 鈴木正修

「努力どりよくに勝まさる天才てんさいなし」と言いいますが、最近さいきんその言葉ことばを裏うらづ付けるようなエピソードエピソードを知しりました。

あの世紀せいぎの天才たいてんさい・アインシュタインアインシュタインが来日らいにちした時ときのことです。

ある人ひとがアインシュタインアインシュタインに「瓦職人かわらじやくにんが高たかい屋根やねから転ころげ落おちるのを見みて相対性理論そうたいせいりろんを思おもいついたという噂うわさは本当ほんとうですか？」と聞ききました。




その時、温厚なアインシュタインが不満の色を浮かべて言ったそうです。

「そんなことは断じてありません。確かに瓦職人が落ちたのは事実ですが、それからヒントを得てあの理論を発見したではありません。それ以前から散々考えたり実験したりしていたところに職人が落ちるのを見たのです。

よく世の中ではリンゴの落ちるのを見て、ニュートンが引力を発見したと申しますが、それも同じことです。

科学上の大発見は、ただひよっと思いついたのでは断じてないのです。インスピレーションは決して空虚な心には与えられません。それを得ようと血のにじむような苦心、努力をしている心のみ与えられる尊い賜



物です。長い苦しい努力なしに、ただの思い付きなどというものはないのです」

世紀の大発見は、一見、偶然のようにしてなされたとはしばしば語られます。しかし、実際は、血のにじむような苦勞の道筋があるようです。

また、そのようにして得た智恵だからこそ尊いのだと思います。

次は、経営の神さまと言われた松下幸之助さんが言われた言葉です。

「ほんとうは、まず汗を出せ、汗の中から智恵を出せ、それができない者は去れ、と、こう言わんといかんのや。智恵があつても、まずは汗を出しなさい。ほんとうの智恵はその汗の中から生まれくるものですよ、こういうことやな」

この言葉は、ある会社の社長が社員に「智恵あるものは智恵を出せ、



朝のこない夜はない (211)

無き者は汗を出せ、それもできない者は去れ」と話していたのを松下さんが聞いて、咳いた言葉です。その後、松下さんは「あかんな、つぶれるな」と言ったそうです。その会社は数年後、本当につぶれてしまったと言います。

最後に松下さんの信奉者であり、京セラ、KDDIを創業し、幾多の苦難を乗り越え、両社を世界的な大企業とし、現在、無給で日本航空の再生に取り組んでおられる稲盛和夫さんの言葉です。

「美しい心を持ち、夢を抱き、懸命に誰にも負けない努力をする人に、神は『智慧の蔵』から一筋の光明を授けてくれる」